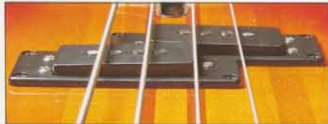


New

BB

ソリッドな味からアコースティックな味まで、音程感よく、ブロードにサウンドクリエート。幅広い音楽性を極めるプロ感覚、BBシリーズ。



ダブルポールピース・スプリットピックアップ——1・2弦側をネック寄り、3・4弦側をブリッジ寄りに、それぞれセパレートされた2個のピックアップユニットに注目。さらに、1本の弦に、2個ずつのマグネットが対応。芯の通った、ストロングな低音を、音程感よく弾き出す。ロングサスティン効果は、さらに魅力あるサウンドに仕上げる。(BB全機種)



21フレット・フィンガーボード——1フレット増えて、高音部でのサウンドに幅。ブロードサウンドの裏づけ。入念に仕上げられた表面部に、華麗な白蝶貝のポジションマークが美しく映える。(BB全機種)



ワンピース構造——どこにも継ぎ目なし。ボディ本体より完全削り出しのワンピース構造。弦の振動をより効果的に、ダイレクトにボディへ伝達。(BB-1200)



ダイキャストブリッジ——ブリッジをびたり、ダイキャストプレートにホールドする、ガイドライン付きのニュータイプ。ピブラートやチューキングによる横ぶれをパーフェクトにシャットアウト。(BB全機種)



トルク調整つき糸巻——高精度ギヤを使用。大きなギヤ比で、より正確な微調整が可能。プロ仕様。(BB全機種)



別売ケース:BB0=¥18,000



BB-800 (BL)

ダブルポールピース・スプリットピックアップから、える音程感のよい豊かな低音。もともとブロードなエレキベース。
マイク=Wポールピース・スプリットタイプ×1
調=アルダー
枠=メープル
指板=ローズ
駒・枠=デタッチャブル
糸巻=ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦=ロートサウンド・スイングベース弦
重量=4.2kg
¥80,000



BB-800 (BR)

ダブルポールピース・スプリットピックアップから、える音程感のよい豊かな低音。もともとブロードなエレキベース。
マイク=Wポールピース・スプリットタイプ×1
調=アルダー
枠=メープル
指板=ローズ
駒・枠=デタッチャブル
糸巻=ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦=ロートサウンド・スイングベース弦
重量=4.2kg
¥80,000



BB-1000 (NT)

芯のある低音を、ストロングに、バランスよく、サスティン効果が活きるブロードサウンド。
マイク=Wポールピース・スプリットタイプ×1
調=アルダー
枠=メープル
指板=シマコク
駒・枠=デタッチャブル
糸巻=ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦=ロートサウンド・スイングベース弦
重量=4.2kg
¥100,000



BB-1000 (YS)

芯のある低音を、ストロングに、バランスよく、サスティン効果が活きるブロードサウンド。
マイク=Wポールピース・スプリットタイプ×1
調=アルダー
枠=メープル
指板=シマコク
駒・枠=デタッチャブル
糸巻=ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦=ロートサウンド・スイングベース弦
重量=4.2kg
¥100,000



BB-1200 (NT)

ワンピース構造をもつ、BB最高級モデル。プロの期待に応える、幅広い音楽性が魅力。
マイク=Wポールピース・スプリットタイプ×1
調=アルダー+マホガニー+メープル
枠=メープル+マホガニー
指板=シマコク
駒・枠=ワンピース構造
糸巻=ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦=ロートサウンド・スイングベース弦
重量=4.3kg
¥120,000



BB-1200 (ST)

ワンピース構造をもつ、BB最高級モデル。プロの期待に応える、幅広い音楽性が魅力。
マイク=Wポールピース・スプリットタイプ×1
調=アルダー+マホガニー+メープル
枠=メープル+マホガニー
指板=シマコク
駒・枠=ワンピース構造
糸巻=ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦=ロートサウンド・スイングベース弦
重量=4.3kg
¥120,000

エレクトリックギター&ベースサウンドの秘密。

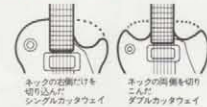
②構造・材質・パーツ編

●ボディ構造を知る。

ソリッドギターは、空洞のない削り出し完全ソリッドボディが最も理想。そして、セミアコは、セミソリッドなボディが主流。サウンドホールを持ちながら、中忠をウッドブロックでかためることで、アコースティックな味はもとより、ソリッドな味までオールマイティに、クリアーに弾き出す。ヤマハのSAシリーズは、セミアコモデルに新しい流れをつくり、新設計のボディ構造が特長。

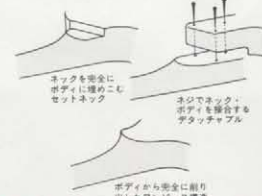


●カッタウェイに2つのタイプ



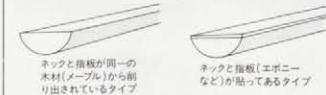
●ネックの素材は、サウンドの“ひとと”の決め手。

メープルネックは、パンチのあるクリアーな音。マホガニーネックは、甘く、粘りのある音が魅力。ヤマハは、さらにその両方の持味を活かしたワンピース構造を追求。幅のあるサウンドを弾き出している。



●フィンガーボードは、見がせないチェックポイント。

材質の良し悪しはもちろんのこと、ネックと組み合わせられたときの音の融合、バランスが重要なポイント。そして、表面仕上げも見がせないチェックポイント。湿気に強く、はげにくく、弦ずれを防ぎ、経年変化に強いものが理想。ヤマハのフィンガーボードは、厳選された素材を使用し(SBシリーズはメープルワンピース削り出し)、木地を活かした入念な仕上げ。音は形に出る。締った、ぶ厚くのびのよいサウンド、なめらかな演奏性も、実はこんなところにその秘密が隠されている。



●音程に狂いのない、パーフェクトチューニングこそ、プロサウンドの秘訣。

音楽は、あくまでも正確な音程があってこそ美しく響く。この正確な音程をとるのがチューニングギア、糸巻だ。強力な張力にもチューニング狂いを起さぬ機構。そして、微調整も思いのまま、びたり、スムーズなパーフェクトチューニングができるものを選びたい。ヤマハのオリジナル糸巻の性能と信頼性は、その流麗なデザインとともに、すでに内外のプロミュージシャンの間で定評のあるところ。